

医療を通じて人と地域を結ぶメディカル情報誌

あかね akane

vol.29
2013
Summer

Close Up 大町土谷クリニック

命を救う人工透析のしくみ
職員のための保育施設完備

Topics さほ 咲帆ちゃん移植後帰国

土谷総合病院 食堂の改装



大町土谷クリニックスタッフ

いま求められている医療の最高レベルを目指すとともに、明日の医療のあり方に機能しよう



医療法人あかね会

理事長挨拶

先日、姜尚中先生(東京大学大学院教授)のご講演を拝聴する機会がありました。平成23年の東日本大震災の後、相馬市は原発事故にもかかわらず、籠城宣言を出して何とか耐える方向で頑張りました。姜先生が相馬市に入って市長にお会いしたとき、市長は「水と食料と医療と、そして人々の絆があれば、相馬市はやっていけます。」と断言されたそうです。この言葉を聞いたとき、医療に従事する者としての責任の重大さを痛感いたしました。

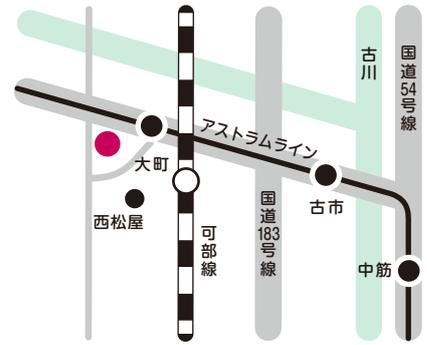
現在、広島県では、医療法第30条の4第1項に基づき、第6次保健医療計画が策定されています。この計画では、「5疾患・5事業および在宅医療」について、①疾病又は事業ごとに必要となる医療機能を明確にした上で、②地域の医療機関がどのような役割を担うのか明らかにし、さらに③医療連携体制を推進していくことを求めています。また、県内全域で患者の診療情報の参照等を可能とするネットワーク(ひろしま医療情報ネットワーク)の基盤準備も始まっています。どちらも、まさしく、医療機関同士が絆を強めることを要求される取組みである、と思っております。



医療法人あかね会
理事長

土谷 晋一郎

Tsuchiya Shinichiro



大町土谷クリニック

内科 産婦人科 放射線科

透析治療を中心に地域医療の向上へと、医療ニーズに応えるため平成7年4月に開設いたしました。地域医療サービスの充実のため開設されたこの医院は、便利な交通機関を有する場所にあります。特に広島市北部の透析治療を必要とする患者さんのために、充実した設備を整えています。

〒731-0124

広島市安佐南区大町東二丁目8番35号

☎ 082-877-5588(代)

fax 082-870-5101



Close Up

血液透析を 中心とした医療に、 多くの専門スタッフが 患者さまの 診療をサポート

広島市北部地域の交通拠点である大町駅近隣に位置する「大町土谷クリニック」外来血液透析・慢性腎臓病外来の診療を中心に、最善の診療を目指しています。

●大町土谷クリニック

院長 高橋 直子

大町土谷クリニックが、平成7年4月土谷総合病院のサテライトクリニックとして開設され18年が経過しました。これまで多くの方々のご協力をいただき運営できましたことを、まず厚くお礼申し上げます。

当院は、JR可部線とアストラムラインの唯一の乗換駅でバスターミナルも併設され広島市北部地域の交通拠点となっている大町駅よりわずか徒歩1分と通院に大変便利な場所に位置し、外来血液透析と保存期の慢性腎臓病（CKD）外来の診療を中心に、週2回の産婦人科外来を併設しています。

血液透析部門は、3フロアに透析装置175台を備え、現在400名余りの患者さんに、月水金曜日は午前と午後、火木土曜日は午前だけの診療を行っています。透析患者さんは、まだ増加の一途をたどっています。特に糖尿病や高齢者の占める割合が高くなり、さらに長期透析例が増加するにつれて脳・心血管や骨関節、眼、皮膚などの合併症が多くなっています。そのため、通院や家庭での介護を必要とする患者さんが増加しており、在宅介護サービス部門との連携を強化しています。

また、保存期の慢性腎臓病（CKD）外来



では、2009年CKD診療ガイドの刊行以来、近隣の諸先生方からご紹介をいただく機会が増えています。現在約80名の患者さんが通院されていますが、腎臓病の原因や腎機能の精査を行い、その結果に基づいて薬物療法や生活・食事指導を行っています。

現在、常勤医師3名、非常勤医師数名、看護師41名、臨床工学技士34名、薬剤師3名、臨床検査技師2名、事務7名が丸となり、安全・安心・安楽をモットーに、患者さんに3つの「安らぎ」ある医療や看護を提供できるよう日々努力しています。

今後も患者さんの必要に応じた最善の診療を目指して進めていく所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



Close Up

生命を維持する 人工透析が 多くの命を 支えています

透析機器175台を完備し
3つの安らぎ『安全・安心・安楽』を
提供しています。

●大町土谷クリニック
看護師長 山崎 幸一



大町土谷クリニックは血液透析治療を
専門に行っているクリニックです。

私たちの体の中にある腎臓は、体内の
余分な水分や老廃物を尿として体より外
に排出するはたらきがあります。腎臓病
になると、このはたらきが弱くなり、体が
だるい・頭が痛い・息をするのが苦しいな
ど、徐々に体に症状が現れ、全身のむくみ
で体の異変を感じ、病院にかけつけるこ
とになります。

しかし、最近では学校・会社の健康診断
や、生命保険に加入する時の検査で早め
に発見されることが多くなりました。腎
臓のはたらきが極端に悪くなると、全身
のあちこちに障害が現れます。その障害
を改善させるため、人工の腎臓を使った
透析治療が必要となります。

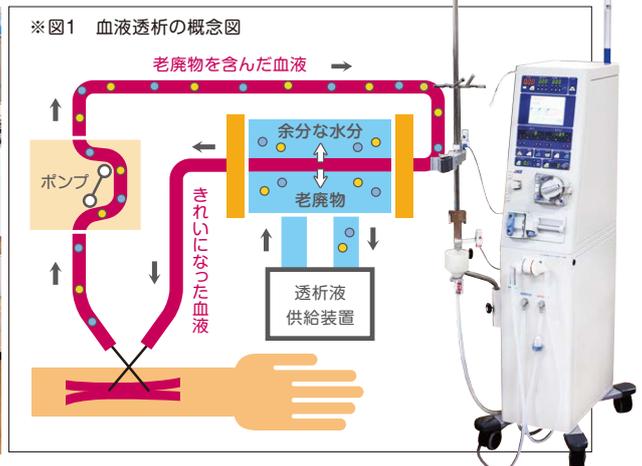
透析が必要となると、土谷総合病院で
治療のための準備をします。手首の近く
に小さな手術(動脈の血管と静脈の血管
を皮膚の下でつなぎあわせます)を行いま
す。ここに2本の針を刺して、十分な量
の血液を体から取り出して余分な水分や
老廃物を取り除き、きれいになった血液
を体の中に戻すことが血液透析治療の基
本です。(※図1)

実際の透析は、はたらいっている腎臓の
程度によって、治療時間が決まりますが、
主に週に2～3回で、1回に3～4時間
の治療が必要となります。治療中は、座っ
てテレビを見たり、本を読んだりするこ
ともできます。透析室は広い空間に、ベッ
ドやチェアと専用の装置が置かれていま
す。この装置は、治療の状況を表示した

り、監視をします。常に安全な状態である
かを見張り、異常があれば警報を発して
スタッフに知らせます。大町土谷クリ
ニックでは、最新の全自動型装置を全台
使用していますので、常に安全で安心でき
る環境があります。

透析室は、3階・4階・5階と3つのフ
ロアがありますが、それぞれ担当の医師
やスタッフがいます。

スタッフは、熟練の50代、経験豊富な
40代、活動的な30代、フレッシュな20
代とバラエティに富み、時には厳しく食
事指導や生活指導もしますが、みんな気
さくで笑顔がとても素敵なスタッフ達が
大町土谷クリニックを支えています。



※図1 血液透析の概念図



Voice of Staff

患者さまのために 強い“志”を持って支える スタッフがいます

常に笑顔を絶やさず
患者さまに安心感を与えることが
医師・看護師としての使命です。
そこで、当クリニックで働く
元気いっぱいのスタッフをご紹介します。

●大町土谷クリニック



やりがいを糧に、自分の得意なことを活かしたい

私は新卒で入社し、4年目になります。
社会人になり、憧れだった中型バイクを買いました。休みの日は、同僚と一緒にツーリングに出かけたり、男の一人旅をして中国地方の道の駅を全て制覇しました。
茗加(みょうが)は珍しい名前なので、そこから患者さんと話が弾むことがあります。
元々機械をいじるのが好きなので、機器の修理やメンテナンスなど、経験を積むにしたいことができるが増えてやりがいを感じています。今後は研究発表にも力を入れていきたいと思います。

臨床工学技士 茗加 聖也



患者さんに笑顔と元気を与えられる看護師に

入社して3年目の看護師です。患者さんからは「いつも笑顔の中濱さん」や、慌ただしくしている姿や体格から「体育系の中濱さん」と言われたりしています。まだまだ至らないことがたくさんあり、他のスタッフに迷惑かけっぱなしですが、小さいころからの特技である、人を笑顔にさせる力を十分に発揮して、患者さんからの信頼を得るとともに、笑顔と元気を与えられる看護師を目指したいです。

看護師 中濱 恵美

>> News!

待望の院内保育所 『あかねキッズ大町』 オープン間近!

●大町土谷クリニック

近年全国的に問題となっている保育所不足による「待機児童」について、女性スタッフの多い当クリニックでも同じ問題を抱えています。そこで、待機児童問題を解消し、家庭と

仕事の両立を支援するため、院内保育所の設置を決定しました。(平成25年度夏のオープンに向けて準備をすすめています)

あかね会では、総合・阿品に続き3番目のオープンとなります『あかねキッズ大町』…場所は、大町土谷クリニックのすぐ隣の大町駅ビル2階に設置され定員15名の、ゆとりのある広々とした明るい施設が特徴となっています。アストラムラインとJRの大町駅から歩いて1分と好立地ですので、大町土谷クリニックのスタッフ、大町の在宅事業部スタッフのみならず、広島市北部近隣から通勤している、あかね会スタッフの利用も可能となります。



▲あかねキッズの様子



▲オープン間近のあかねキッズ大町



Topics

さほ 咲帆ちゃん 移植手術後 無事帰国しました

昨年6月の募金活動後、
さほちゃんは7月に渡米し、
9月にはミシガン大学病院で
移植手術を受けることができました。
現在のさほちゃんの経過報告です。

● 土谷総合病院
小児科 田原昌博



前回の病診連携通信「茜」で報告させて頂いた、拘束型心筋症の咲帆ちゃんの経過報告をさせていただきます。(写真をご両親の承諾を頂いた上で掲載させていただきました。)

咲帆ちゃんは2012年3月に当科へ紹介入院となり、拘束型心筋症と診断しました。救命のためには心臓移植を行うしか方法が無いと、ご両親はかなり葛藤されたのですが、最終的に相当な覚悟をもって渡航移植の決断を頂きました。国内での移植の選択肢もありましたが、咲帆ちゃんの病態が長期間待てる病態ではなかったこと、現時点でのドナーの数を考慮して、渡航移植に踏み切りました。6月に募金を開始し、わずか数日で目標募金額を達成することができました。その後、渡航の準備を進めて、7月

にミシガン大学病院へ渡航し、現地での移植登録を済ませた後、9月1日に臓器提供者が現れ、無事に心臓移植を受けることができました。退院後も、現地に滞在され、移植後の拒絶反応のチェックを行い、2013年4月7日に無事に帰国されました。

渡航の際には強心剤の点滴と酸素投与を行いながら移動し、フライト中も低酸素性肺血管攣縮などに悩まされながら、なんとか無事に送り届けることができたのですが、今回帰国される時は、当たり前のことですが、点滴も何も付いていない状態で帰国されています。帰国後に咲帆ちゃんと再会した時には、非常に感慨深いものを感じました。

咲帆ちゃんは、移植後の拒絶反応を予防する目的で免疫抑制剤などを一生内服

していかなければいけません。免疫抑制剤の血中濃度が変動しやすいと、頻回の採血も必要になります。また、拒絶反応のチェック目的で、定期的な心筋生検も必要です。感染症にも罹患しやすく、罹患すると治りにくいので、感染症にも気を配らなければなりません。

移植を受けた子供が幸せになることが、臓器提供してくれたドナーとその家族の願いです。今後、咲帆ちゃんが普通に幸せに暮らしていけるように、我々もサポートしていきたいと思います。

さほちゃんのご両親よりご挨拶

2012年9月1日、転院先でありましたミシガン大学病院にて無事に心臓移植手術を受け、術後の経過も良く、拒否反応が見られない事から2013年4月7日に帰国ができました事をご報告申し上げます。余命を知り、日本では助からない命と告げられた娘を救いたいと身勝手なお願いにも関わらず、多くの方々から

のご支援とお力添えを賜りました事、深く御礼申し上げます。無事に日本へ戻れたという幸運は多くの皆様に支えられて与えられたものだと思っております。私達の娘へ命のバトンを託してくださいましたドナーのご両親様の想いを重く受け止め、娘と胸の中で鼓動す

る命が未来へ向い健やかに成長出来るように、そして移植医療を経験した一家族として移植医療が必要とされている病気の存在と、移植医療に対する理解が深まる事を願い、これからも娘のケアに努めて参ります。

菊地 一弘、由利子



▲ 8階 食堂ラウンジ カウンター

8階食堂と 7階特別個室を リニューアル

● 土谷総合病院

昨年11月、土谷総合病院では8階食堂のリニューアルをしました。

外来患者様、入院患者様とご家族の方に少しでもリラックスできる空間を提供できるようにと考え、食堂をリニューアルする事になりました。

一番の特徴は、土谷総合病院でしか眺める事の出来ないきれいな景色を楽しんで頂けるように、カウンター席を設けました。

最近では、ご利用される方も増えており、そこから見える平和公園を、たくさんの方がカメラに収めていらっしゃる姿をお見かけします。昼食時にはカウンター席は、ほぼ満席になる程、たくさんの方に利用していただいています。

この食堂のリニューアルの構想に半年以上かけ、景色がきれいに見えるガラス、平和公園が一番きれいに見える高さに仕上げた



▲ 特別個室



▲ ラウンジから一望できる平和公園



▲ 8階 食堂ラウンジ テーブル席

カウンター、遠方まで出かけて選んだ家具のデザインと椅子の座り心地など、色々とこだわって作っており、多くの方にお褒めの言葉を頂きました。

また今年5月には、7階にある料金設定が高めの特別個室2部屋のリニューアルも行いました。家具類も新調し、高級感のある落ち着いた雰囲気で仕上げています。料金は南側が1泊21,000円で平和公園側が1泊31,500円となっております。

現在は、病院入口のリニューアルを予定しており、構想を練っている最中ですので出来あがりをお楽しみに…。

Tsuchiya Support Section

診療放射線技師の石橋徹君、 学会より表彰される



土谷総合病院 診療放射線技師

石橋 徹

(公社)日本放射線技術学会の第60回学術総会(4月:横浜開催)にて技術新人賞(計測分野)を受賞しました。2012年に同学会雑誌に掲載された論文「多施設における循環器撮影装置のIVR基準点での線量率の比較」をはじめ、最近の学術活動が評価されたものと思われます。

当院でも多く行われている循環器系の血管撮影・治療における放射線被ばく線量は治療手技の高度化に伴い増加傾向にあります。そのため放射線量を必要最小限にとどめる管理技術と線量低減技術の研究はますます重要となっています。当院は循環器被ばく低減施設の認定も取得しており、今後も石橋君をはじめチーム全体で放射線被ばく低減に努めて参りたいと思います。

土谷総合病院 診療部放射線科 主任
今田 直幸

Column

一枚の写真

「あかね会」の名前の由来

この一枚の写真(土谷総合病院8階廊下に展示)は医療法人あかね会の前身である外科土谷病院の初代院長、土谷剛治が好きな万葉集、額田王(めかたのおおきみ)の歌「あかねさす紫野(むらさきの)行き標野(しめの)行き野守(のもり)は見すや君が袖振る」を書家に依頼して書いてもらったものです。この歌の枕詞「あかねさす」からあかね会と命名されました。

土谷総合病院 院長 土谷 治子



地域医療連携室

地域の医療機関との緊密な連携と機能分担を推進し、医療技術の向上を図ります。

「地域医療連携室」って何をするとこる？

ほかの医療機関からの紹介で来院された患者様が、当院にてスムーズに診察・治療を受けるための事前カルテ準備や受診予約の手続き、逆に当院からほかの医療機関へ紹介した患者様の予約手続きなどを担当するセクションとして、地域の医療機関と当院を結び橋渡しをしています。ほかにも、治療に伴って生じるさまざまな問題、心配事、不安などの解決・解消方法についてもお手伝い致します。患者様やご家族のお気持ちを尊重した「顔の見える連携」を推進し、地域に親しまれる病院を目指して頑張っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

《例えば、こんなご相談をいただいております》

- 経済的な心配事(医療費、生活費など)
 - 福祉制度や社会保険の紹介
 - 入院・退院後の生活環境の変化による精神的な悩み
 - その他、どこに相談したらよいか分からない医療に関する悩み など
- もちろん秘密厳守ですので、安心して、お気軽にご相談ください。



地域医療連携室

☎ 082-243-9191(代)

受付時間 / 9:00~12:00, 13:00~16:30

医療法人 あかね会

土谷総合病院

〒730-8655 広島市中区中島町3番30号
☎ 082-243-9191(代)



- **阿品土谷病院**
〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
☎0829-36-5050(代)
- **大町土谷クリニック**
〒731-0124 広島市安佐南区大町東二丁目8番35号
☎082-877-5588(代)
- **中島土谷クリニック**
〒730-0811 広島市中区中島町6番1号
☎082-542-7272(代)
- **介護老人保健施設シエスタ**
〒738-0054 広島県廿日市市阿品四丁目51番1号
☎0829-36-2080(代)

在宅事業部(介護サービス部門)

土谷訪問看護ステーション

光南 ☎082-544-2789	西広島 ☎082-507-0855
大町 ☎082-831-6651	出汐 ☎082-250-1577
佐伯 ☎082-925-0771	

土谷ヘルパーステーション

光南 ☎082-545-0311	西広島 ☎082-507-0877
大町 ☎082-831-6654	出汐 ☎082-250-5080
佐伯 ☎082-925-0770	戸坂 ☎082-502-5205
可部 ☎082-819-2250	矢野 ☎082-820-4825
阿品 ☎0829-20-3585	

土谷居宅介護支援事業所

光南 ☎082-504-3202	西広島 ☎082-507-0866
大町 ☎082-831-6653	出汐 ☎082-250-3730
佐伯 ☎082-925-1550	戸坂 ☎082-502-5215
矢野 ☎082-820-4835	阿品 ☎0829-20-3721

土谷デイサービスセンター

光南 ☎082-544-2885	大町 ☎082-831-6600
------------------	------------------

スタッフ募集

心豊かな医療を提供し、楽しく時間を共有しながらスキルアップに繋げるために、あかね会では、やる気のある方、経験豊富な方の募集を随時行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



土谷総合病院

検索

編集者後記

今回、医療法人あかね会の機関誌「茜」をリニューアルしました。あかね会を皆様に少しでも知ってもらうために医療関係者だけでなく、一般の方にも読みやすいものにしたつもりです。今回は大町土谷クリニックの紹介をさせていただきましたが、毎回、あかね会の色々な部署を地域の皆様に知ってもらうために紹介していく予定です。

本部事務局



医療法人あかね会 本部事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 4-11
☎ 082-245-9274
http://www.tsuchiya-hp.jp
2013年7月発行